

働くことの意義とは
—仕事に向き合う姿勢を考える—

経済同友会 会員
林 明 夫

Q 1 : 「本日の講演の目標」は何ですか。

A : 7 月 10 日～ 12 日に職業体験実習が実施されますので、その前に働くことの意義や仕事に向かう姿勢を少しずつ考えるきっかけをつかむこと、また、実習が終わったあとに実習を振り返るきっかけをつかむことの 2 つです。

Q 2 : 自己紹介をしてください。どのような仕事や活動をしていますか。

A : (1) 株式会社 開倫塾創業、現在は代表取締役社長(足利市)
(2) マニー株式会社(手術用縫合針製造)顧問、元社外取締役(本社 宇都宮市、ハノイ、ヤンゴン、ビエンチャンに現地法人)
(3) 社会福祉法人両崖福祉会 特別養護老人ホーム清明苑 理事(足利市)
(4) 学校法人有朋学園 有朋高等学院 理事長(福島市)
(5) 宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授(宇都宮市)

CRT ラジオ栃木放送で毎週土曜日の朝 9:15 から約 10 分、大人もふくめ、効果の上がる勉強の仕方をテーマとしたラジオ番組を 26 年間担当

Q 3 : 仕事とは何ですか。

A : (1) すべての仕事にはお客様がいます。
(2) 仕事とはお客様にとって価値あること、大切なこと、具体的に言えば、お役に立つことをすることです。
(3) お役に立つとは、お客様の問題を解決すること、困っている人をお助けすることだと私は考えます。
(4) 一人ひとりのお客様のお役に立つこと、問題を解決することは、同じような問題を持っている人々の問題を解決すること、困っている人々をお助けすることに繋がり、社会のお役に立つことになると私は考えます。
(5) まとめて言うと、仕事とはお客様のお役に立つこと、社会のお役に立つことだと考えます。
(6) では、質問です。職業体験実習に行く職場のお客様とは誰(だれ)ですか。そこではお客様のどのような問題を解決し、お客様のお役に立っているのですか。社会のお役に立っているのですか。一人ひとり自分の力でお考えください。

Q 4 : お客様のお役に立つ仕事、社会のお役に立つ仕事をするにはどうしたらよいのですか。

- A : (1) お客様が何に困っているのかをよく知らなければなりません。
- (2) お客様の必要とすることをよく知った上で、どのような形でものやサービスを提供したらよいかを考えなければなりません。
- ①どのような内容のものやサービスを提供したらよいのか (Product プロダクト)
 - ②どのような値段で (Price プライス)
 - ③どのような場所で(どのようにものを運んで) (Place プレイス)
 - ④どのように PR(販売促進)して (Promotion プロモーション)
- * Pで始まるので、これを「マーケティングの4P(よんピー)」と言います。
- (3) どのようなしくみ(組織)、グループ・団体をつくって仕事をするかも重要です。
- ・仕事をするには「人」や「土地・建物・設備・お店」、「お金」、それに「知識」や「技術」などが必要です。

Q 5 : 仕事をするにはどのような能力が必要ですか。

- A : (1) 学校で学習する各教科の知識や教科以外の学校での活動で身に付く能力は欠かせません。
- (2) その仕事に必要な知識や技術も大切です。
- (3) 仕事の上でのルール(しなければならぬこと、してはいけないこと、決まり)を知り、身に付けること。
- (4) 人の話をよく聞きメモを取ることができる能力。おしゃべりやケータイ、居眠りはしないことも大切です。
- (5) 相手を尊重しながら、自分の考えを丁寧なことばではっきりと述べる能力。
- (6) 元気なあいさつ。仕事の場所にふさわしい服装をすること。
- (7) 躰(しつけ)が身に付いていること。
- ・敬語表現(けいごひょうげん)を含む言葉遣い(ことばづかい)
 - ・美しい立居振舞い(たちいふるまい)
- (8) 遅刻、欠席、早退は本人や家族の病気や事故のとき以外はできるだけしないこと。

Q 6 : 人は何のために働くとお考えですか。

- A : (1) 生活ができるだけの収入を得るため(家族全体として)。
- (2) お客様のお役に立つため、社会のお役に立つため。
- (3) 自己実現。家族全体として生活ができるだけの収入が得られ、また、お客様や社会のお役に立つ仕事をする事ができてよかった。
- * このように私は思います。そこで質問です。皆様はどうお考えですか。

Q 7 : 今、学校で学んでいる勉強はどこで役に立つのですか。社会に出て役に立ちますか。

- A : (1) 教科の勉強は積み重ねですので、小学校の勉強が中学校で役に立ったように、中学校で学ぶすべての教科の勉強は高校で役に立ちます。高校での勉強の内容は大学や短期大学、専門学校、大学院ですべて役に立ちます。前の学校での勉強が十分に身に付いていないと、上級学校での勉強は困難(こんなん)を極(きわ)めます。
- (2) 仕事に就くときの就職試験や、国家試験、資格試験などにも学校の勉強は役に立ちます。

- (3) 仕事や社会的活動、家庭生活にも学校の勉強は役に立ちます。現代は「知識社会」「グローバル社会」「課題が山積(さんせき)された社会」ですので、学校での勉強が不足し、よく身に付いていないと、よい仕事や社会的活動をするのは難しいといえます。
- (4) 問題は、社会に出てから、一生、自分自身の力でどのくらい熱心に学び続けるかです。学校にいるとき以上に自分の力で学び続けないと、よい仕事や社会的活動は難しいといえます。
- (5) 職場体験に行った先で、学校での勉強がどのようにこの職場で役に立っているのかを聞いてください。

Q 8 : えっ、学校を卒業してからも勉強しなければならないのですか。

- A : (1) 当然です。学校での勉強は社会に出てからの勉強の準備運動、基礎訓練といえます。
- (2) ですから、学校時代に自分なりの「学習の仕方」を身に付けてください。「授業の受け方」「ノートを取り方・まとめ方」「試験の受け方」「辞書の使い方」「図書館の使い方」「一度理解した内容の身に付け方」「音読、書き取り、計算・問題練習の仕方」「テストの受け方」など、学校時代に身に付けた学習の仕方はすべて社会に出て役に立ちます。
- (3) 社会に出てからも読書は欠かせません。「読書をして思慮深さを身に付ける」こと、そのために気に入った文章を書き抜いておく「書き抜き読書ノート」をつくること。
- (4) 新聞を毎日読み、自分で考える力、批判的思考能力(ひはんできしこうのうりよく)を身に付けること。新聞をよく読むと世の中の動きがよくわかり、仕事に役に立ちます。世の中の動きがわからないと、よい仕事はできません。
- (5) 職場体験に行った先で、そこで働いている人やリーダー格の人により仕事をするために社会に出てからどのような勉強をしたらよいか質問をしてみてください。

Q 9 : 最後に一言どうぞ。

- A : (1) 学校時代の友だちは一生の友だち、先生は一生の恩師です。少しずつでも友情を育ててください。
- (2) 英語とコミュニケーションはどんな仕事をするときも欠かせません。コンピュータのスキルも大切です。キーボードを見ないで入力する「タッチタイピング」も中学生のうちに身に付けてくださいね。
- (3) 仕事をする上で大事なものは「自己責任」、「自助努力」、「自分の未来は自分で切り開く」、「あきらめたらおしまい」の精神です。
- (4) 最後に私の好きなことばを紹介します。
- ①「ブルドッグ魂」(食いついたら離すな)
 - ②「練習で泣いて、試合で笑え」
 - ③「一所懸命」(一つの所で命を懸けるくらい熱心にものごとに取り組むこと)
 - ④「会った人は、皆友だち」
 - ⑤「一生勉強、一生青春」
- (5) 健康第一(心の健康、身体の健康)、お体を大切にしてください。

Q10 : 最後に皆様から頂いた質問にお答えいたします。

以上

* 御清聴を感謝します。

職業人講話にむけての質問事項

(A の空欄の項目は、資料をご覧ください)

Q 1 : どんな仕事をされているのですか。

A :

Q 2 : 求人などで英検や漢検以外で役に立つ資格は何ですか。

A : 数検、言語力検定。パソコン検定。仕事をするのに必要な検定はたくさんあります。少しずつ挑戦を。

Q 3 : 資格を取って、どのように役立てたらよいのですか。

A : 資格は仕事の第一歩。最低でも 10 年間はその資格を深める勉強を。

Q 4 : 社内のルールを教えてください。

A : 遅刻せず就業時間前に到着する。人の話はメモを取りながら静かに聞く。法律を守る。

Q 5 : 大変だったことは何ですか。

A : 2011.3.11 東日本大震災。

Q 6 : 仕事をする上で、最も大変なことは何ですか。

A : 約束を果たすこと。結果を出すこと。結果を出し続けること。

Q 7 : 嬉しいと思えるときはどんなときですか。

A : 約束が果たせること。結果が出せること。結果を出し続けられること。

Q 8 : 人の接し方について教えてください。

A : 自分がされていやなことは相手にもしない。レディ・ファースト。

Q 9 : 会社への志望動機を聞かせてください。

A : 「学校などでよく勉強すれば、ここに来なくても済んだ人ばかりなのに」と学生時代の刑務所見学のときに刑務官から言われたこと。

Q 10 : どうすれば楽しく仕事ができますか。

A : 自分より優れている人とたくさん会うこと。励まし合う仲間を一人でも持つこと。

Q 11 : 対応に困ったことはありますか。それは、どんなときですか。そして、最終的にどう対処されましたか。

A : しょっちゅうあります。いろいろな人に相談し、最後は自分で決断。

Q 12 : わからないことを質問された場合、どのように対応するのが一番よいですか。

A : わからないと答え、一緒に調べる。

Q 13 : 仕事をする上で、大事なことは何ですか。

A :

Q 14 : 苦しい、辛いと思ったことはありますか。

A : 自分で始めた仕事なので余りありません。

Q 15 : 社会ではどんな力が必要ですか。

A :

Q 16 : 社会に出て気をつけたほうがよいことを教えてください。

A :

Q 17 : どの仕事にも必要なことはありますか。

A :

Q 18 : どのようにしたら会話が盛り上がりますか。

A : 本や新聞をよく読むこと。

Q 19 : 人前に立って、スピーチをするのが苦手なのですが、あがらないようにするためにはどうされていますか。また、上手に話す方法を教えてください。

A : テーマに沿ったメモを作ること。話す前にメモの内容を頭に入れること。ゆっくりと話すこと。

Q 20 : 言葉遣いが不安なのですが、どうしたらよいですか。

A : わからないことばは必ず辞書を引いて調べ、調べたことは意味調べノートにその意味をメモし、その意味調べノートはいつも 1 ページ目から読み、ことばの数を増やすこと。です・ます調で話すように心掛けること。本や新聞を毎日読むこと。「書き抜き読書ノート」「新聞のスクラップブック」を繰り返し読むこと。